

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日	2月 ~25日	3月 ~4日	3月 ~11日	3月 ~18日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	11	10	5	13	11	13 (14)	11
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	21	15	16	6	14	10	11 (13)	15
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	7	3	3	2	3	2	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4	3	1	3	6	3	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2	1	3	1	3	1	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	7	4	4	5
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4	2	3	4	10	5	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第11週(3月12日~3月18日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	10	結核	10	2				3	2	3	
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	1	1							
		腸チフス	1				1				
四類	0	発生なし	0								
五類全数	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3		1				1	1	
		急性脳炎	1							1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1			
		梅毒	2					2			
		百日咳	5		1			2	1	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第11週 3/12~3/18)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり7.59人の報告があり、前週と比べてやや減少しました。

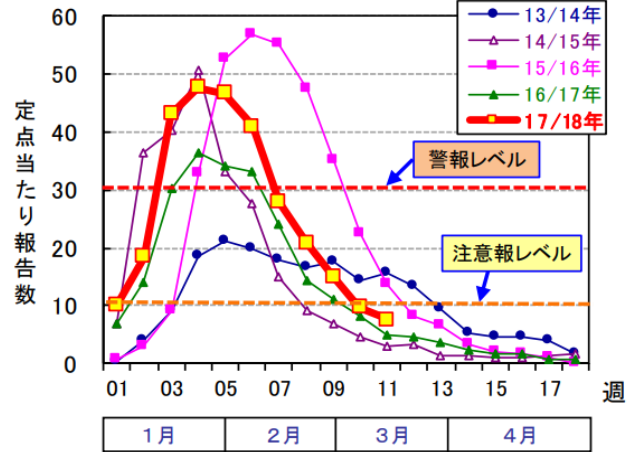
春休み中は混雑する場所へ行くなど、感染機会が増えると考えられます。健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策をより一層心がけましょう。

第11週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が31人、B型陽性が33人報告されています。

2. 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は小児科定点から定点当たり13.7人の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。ロタウイルスによる感染性胃腸炎は基幹定点から17人の報告がありました。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	281	7.59	10.57	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.41	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.26			RSウイルス感染症	17	0.71	0.18	↑
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	2.50	2.15	◇	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	感染性胃腸炎	329	13.71	8.12	◇		流行性角結膜炎	1	0.13	0.60	
	水痘	5	0.21	0.51		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.22			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	-	-	0.24			マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	突発性発しん	7	0.29	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	17	2.43		◇

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	32	女性(20歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
3	腸チフス	1	1	女性(80歳代)・市外
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	3	女性(80歳代)
5	梅毒	2	24	女性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・1人
5	百日咳	2	4	男性(30歳代)・1人、女性(80歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	上気道炎 肺炎	8	男	2018/02/03	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.0) 意識障害	3	女	2018/02/04	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	嘔き気 下痢	1	不詳	2018/02/12	糞便	ノロウイルスG2
流行性角結膜炎	角結膜炎	76	女	2018/02/07	結膜擦過物	アデノウイルス85型
流行性角結膜炎	角結膜炎 瞼結膜腫脹・充血	59	男	2018/02/09	結膜擦過物	アデノウイルス85型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7) 上気道炎 気管支炎	0	男	2018/02/05	鼻汁	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(40.0) 意識障害 熱性痙攣	0	女	2018/02/07	鼻汁	ヒボウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載